

かみふんの 議会だより

第 104 号

2019 年 11 月 10 日発行

発行 上富良野町議会



Contents

- 2 P 女性議長誕生
- 7 P 議会懇談会を開催
- 9 P 新人議員 大いなる一歩を踏み出す
- 10 P 一般質問 5名の議員が町政を問う

町議会初の女性議長誕生

議長に村上和子氏、

副議長に岡本康裕氏を選出

議会議員改選後、初めての議会（第5回臨時会）を8月30日に開催し、議長・副議長の選挙や、新しい議会の構成を決めました。

議長と副議長の選挙は議員による投票で行われ、開票の結果、議長に村上和子氏、副議長に岡本康裕氏が当選し、上富良野町議会初の女性議長が誕生しました。

その後、議席の決定や総務産建常任委員会、厚生文教常任委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会の委員の選任、監査委員の選任などを行いました。

また、議会を休憩して各委員会を開催し、委員長・副委員長の選出などを行いました。



岡本 康裕
おかもと やすひろ

議席番号 13 番 4 期目

副議長に就任しました岡本です。議長を補佐し、スムーズな議会運営に心がけます。また「すべては町民のために」を個人的スローガンに掲げ町の発展に尽力します。



村上 和子
むらかみ かずこ

議席番号 14 番 6 期目

いろんなことに興味を持ち、知ろうという食欲（現場主義）の持ち主です。「医療」「介護」「福祉」に力を入れ更に安心・安全で住み心地の良いまちづくりを求め頑張ります。



就任あいさつ

議長 村上 和子

「町民に身近な議会を」

この度、改選後の臨時会におきまして、不肖私、女性で初めての議長をさせていただくこととなり、その重責を担うことに、身の引き締まる思いで一杯です。

人生100年時代に向け、人口減少対策、少子高齢化対策など町の課題も多く、今回の選挙で議会構成も新人4人、女性も3人となり、何か新しいまちづくりの幕開けを感じております。

議会は、議員は、「何をしているの?」とよく聞かれます。私は議会の顔が見える関係づくり、町民に身近な議会を目指して頑張りたいと考えております。それには、今まで議会改革で取り組んできたこと、議会懇談会等もこれでいいのかなど、今一度、言論の府である議会が議員全員で知恵を出し、多様な町民のニーズに耳を傾け、よく意見を聞き、課題一つひとつを実行していくことが必要です。目指すところは上富良野町の発展と住民福祉の向上であります。議会が活躍しないで町の発展はありません。そのため「まとまる力」、円滑な議会運営に誠心誠意取り組みたいと考えております。皆様方のご指導ご支援をお願いしまして、議長就任のご挨拶とさせていただきます。



中瀬 実
なかせ みのる

議席番号 4 番 2 期目

議会議員として 2 期目、
活気ある元気な上富良野実
現のため、農業、商工業、
観光業の繁栄に繋がるよう
に、1 人 1 人が町政に関心
をもってもらえるような議
会を目指したい。



高松 克年
たかまつ かつとし

議席番号 3 番 2 期目

農業者です。基幹産業の
振興なくして、この町の未
来はないと思います。経済
的、また、多面的機能を持
つ産業の育成、成長のため、
就業者支援に心掛けたいと
思います。



佐川 典子
さがわ のりこ

議席番号 2 番 4 期目

差別や偏見のない多様性
を認め合える社会の構築と
信頼される議員像を迫及し
てきました。今後も町の更
なる発展と皆様の声を反映
させる努力を続けます。
ー正直に生きる事が信条ー



元井 晴奈
もとゐ はるな

議席番号 1 番 1 期目

女性歴代最年少議員！！
知事も初入閣した小泉氏も
同じ 30 代！！令和の新時
代は若者がまちを動かして
いく時代と考え、みんなが
わかる！みえる！議会目指
して頑張ります！



荒生 博一
あらわ ひろいち

議席番号 8 番 2 期目

1 期 4 年間の経験をさせ
ていただき、この度 2 期目
を迎えることができました。
これからもこの町の様々な
課題の一つひとつ、確実に、
解決に向け全力で組み
ます。



米沢 義英
よねざわ よしひで

議席番号 7 番 10 期目

格差社会が広まる中で、
いつも弱い人が犠牲になる
社会を見て、町民の人たち
が少しでも安心して暮らせ
る町にしたいと思い、活動
しています。福祉・暮らし
の向上に努めます。



中澤 良隆
なかざわ よしたか

議席番号 6 番 3 期目

まちづくりの主役は、町
民の皆さまです。皆さまの
意思をまちづくりに反映す
るのが、私の役割と使命だ
と考えています。
期待に応えられるよう頑
張ります。



金子 益三
かねこ まさぞう

議席番号 5 番 5 期目

5 期目として責任ある立
場で議会をまとめて、更に
自己研鑽を図り、町民の皆
さんに身近で信頼される議
会に向け一層の努力をしな
がら、不易流行の気持ちで
取り組みます。



小田島 久尚
おたじま ひさなお

議席番号 12 番 1 期目

＜家族構成＞
妻、二男一女、柴犬一匹
＜特技・資格＞
弾薬の構造・機能の知識
火薬類取扱保安責任者
＜町づくりの情報収集＞
町内の行事等に積極参加



小林 啓太
こばやし けいた

議席番号 11 番 1 期目

町政に対し、希望をもっ
て建設的な意見を伝えてい
こうと思います。町を盛り
上げるアイデアや提案があ
れば気軽に伝えてください。
一緒に町を元気にしていき
ましょう。



今村 辰義
いむら たら

議席番号 10 番 4 期目

元自衛官です。より住み
やすい町を目指し、「町民
の皆様の福祉向上」に努め
るとともに、議選の監査委
員として、適法性・効率性・
有効性などの増進に努めて
まいります。



佐藤 大輔
さとう だいすけ

議席番号 9 番 1 期目

「若い人に町を元気にし
てもらいたい」とのご期待
にお応えするために、議員
としての自分らしさを早期
に構築すべく、皆様のご指
導のもと先ずは堅固な土台
づくりに励みます。

総務産建常任委員会

中瀬委員長あいさつ

この度、総務産建常任委員長の任を拝命いたしました。上富良野町の今後の課題等について調査、研究問題点の解決に向けて委員各位の意見、提案に耳を傾け、委員会のあるべき姿を追求し、解決に向け対応策等を図って参りたいと思います。2年間、委員の皆さまと総務産建常任委員会の運営としていく所存であります。よろしくお願いいたします。

◎委員会が担当する事項

総務課、企画商工観光課、町民生活課の税務班（国民健康保険税に関する事項を除く）、収納対策担当及び自治推進班、会計管理者の事務部局（会計課）、農業振興課、建設水道課、選挙管理委員会・固定資産評価審査委員会・農業委員会・監査委員及び他の常任委員会が担当しない事項



委員長 中瀬 実
副委員長 荒生 博一
委員 高松 克年、金子 益三、佐藤 大輔、小林 啓太、岡本 康裕

厚生文教常任委員会

佐川委員長あいさつ

新しい時代に相応しい構成員の皆さんです。当委員会が町民の皆様の豊かで安心な暮らし全般に亘ることから、7名の総力で委員会として起動していきたいと思っています。急速に進む少子高齢化社会・人口減少や働き方改革などによる人手不足、女性の社会進出に伴う時勢の課題対応など、町の将来像を見据えた委員会の方向性を審議しまとめ、福祉など町の進展に繋がるよう努力を重ねていきたいと思っています。皆様のご指導ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎委員会が担当する事項

町民生活課の税務班（国民健康保険税に関する事項）、総合窓口班、生活環境班及びクリーンセンター、保健福祉課、町立病院、ラベンダーハイツ、教育委員会に関する事項



委員長 佐川 典子
副委員長 中澤 良隆
委員 元井 晴奈、米沢 義英、今村 辰義、小田 島久尚、村上 和子

議会運営委員会

米沢委員長あいさつ

議会運営委員会は、会期の日程を決定し、議会の会議規則、議案、請願等を審査し、議長から諮問があった事項の調査・審査を行う委員会です。

議会運営委員会で決まったことはその都度、全議員の共通意識になるように議会前に説明をし、意見交換も行っています。

これからも「住民に開かれ、分かりやすく、活発な議会」の目標を掲げ、議会の改革を進め、円滑な議会運営に努めてまいりますので、2年間よろしくお願いたします。

◎委員会が担当する事項

議会の運営に関する事項、議会の会議規則や委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項



委員長 米沢 義英
副委員長 中澤 良隆
委員 佐川 典子、中瀬 益三、金子 博一、荒生 博一

議会広報特別委員会

高松委員長あいさつ

議会広報特別委員として新議員4名を含む6名の委員会体制が決定し、「議会だより」を編集いたします。新しい風が入り、町民の皆さんに手に取って、読んでもらえる紙面作りに励みたいと一同張り切っています。広報の使命である議会審議の様子、決定に至る経過、議決事項の実際の動き、成果について、紙面を通して町民の皆様方に読み易く、わかり易く、お伝えしたいと思っています。行政課題は数多くあります。親しみ易い紙面にご期待ください。

◎委員会が担当する事項

議会の活動の状況を広く町民に知らせるため、議会だよりの編集に関する事項



委員長 高松 克年
副委員長 小田島 久尚
委員 元井 晴奈
米沢 義英
佐藤 大輔
小林 啓太

監査委員

議員から1名を監査委員として町長の選任により、議会が同意して選出されています。



今村 辰義

富良野広域連合議会議員

地方自治体の一つである富良野広域連合の議会は、構成市町村議会議員から選出することとなっており、当町議会からは3名が選出されています。



荒生 博一
(総務産業常任委員、議会運営委員)

金子 益三
(総務産業常任委員、議選監査委員)

佐藤 大輔
(文教環境常任委員)

※(一)は富良野広域連合議会の所属委員会等です。

議員会

全議員14名で構成する任意団体です。議員の福利厚生や議員行事の開催など、5名の役員により運営しています。



会長 金子 益三
副会長 佐藤 大輔
理事 小林 啓太
監事 元井 晴奈
今村 辰義

第4回臨時会(7月29日開催)

平成31年度一般会計補正予算を可決

保健福祉総合センターボイラー更新にあたり、二酸化炭素排出量が少なく環境に負荷をあまり与えない地中熱ボイラー等の導入を検討していくため、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業を活用して地中熱の調査を行うため、歳入歳出それぞれ1千万円を追加し、総額を68億942万8千円とする補正予算を、原案のとおり賛成多数で可決しました。

また、道路維持管理車両(4tダンプ4WD)及び教務用コンピュータの財産の取得2件について、それぞれ原案のとおり賛成多数で可決しました。

令和元年第3回定例会は9月25日から26日までの2日間開催し、各会計補正予算、条例、人事案件等について慎重審議を行いました。
また、5人の議員が地域の足の確保対策、幼保無償化に伴う副食費の徴収、複合拠点施設などの一般質問を行い、町の考えを問いました。

条 例

一般職の非常勤等職員
任用制度を移行

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が令和2年4月1日に施行されることから、本町においても適正な運用をするため、令和2年4月1日より一般職の「会計年度任用職員制度」を創設し、任用・服務規律等の整備を図り、これまで任用していた特別職非常勤職員及び臨時的任用職員の任用要件の厳格化を行うため、『会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例』を制定するもので、原案のとおり賛成多数により可決しました。

これにより会計年度任用職員（フルタイム・パートタイム）は、勤務年数に応じた昇給や期末手当の支給、介護休暇・介護時間の付与など待遇が改善され、現在約100人の一般職の非常勤職員及び臨時的任用職員が、来年度から会計年度任用職員として新たに任用される予定です。

法等の改正による条例の改正

住民基本台帳施行令等の一部を改正する政令が令和元年11月5日に施行され、住民票、個人番号カード等への「旧氏（旧姓）」の記載が可能となることか

ら、『印鑑条例』を一部改正し、旧氏による印鑑登録を行うことができるようにするもので、原案のとおり賛成多数により可決しました。
これにより印鑑登録原票の登録事項に「旧氏」が加わるようになりました。また、住民票等に旧氏を記載できるようになりました。

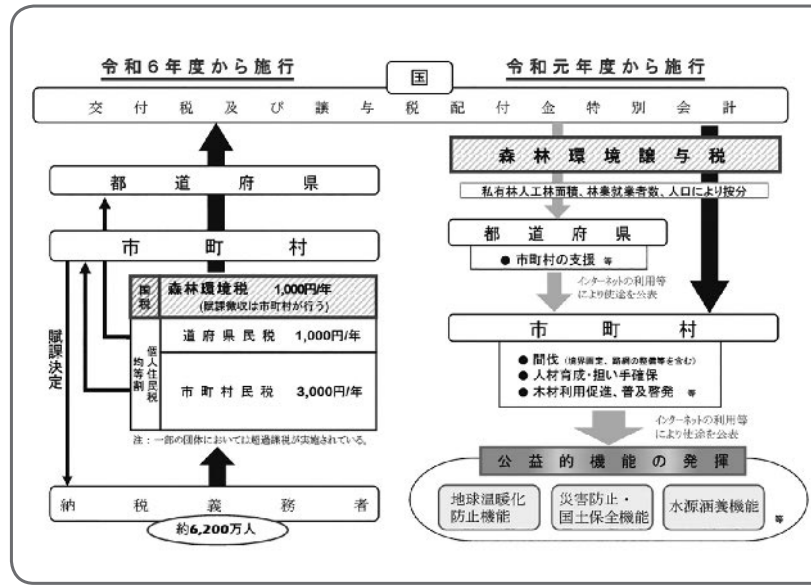
『子ども・子育て支援法』の一部改正が令和元年10月1日に施行され、3歳以上の児童に対する保育料等無償化制度がはじまります。これに対応するため、『特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例』を一部改正することを、原案のとおり賛成多数により可決しました。

森林整備を促進

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が平成31年4月1日に施行され、都道府県及び市町村が実施する森林の整備及びその促進に関する施策の財源として森林環境譲与税が交付されることになりました。交付された森林環境譲与税を単年度で全額を執行しない場合は、基金に積立し後年度の事業に要する費用に充てることができるため、『森林環境譲与税基金条例』を制定するもので、原案のとおり賛成多数により可決しました。

「」が知りたい！
森林環境譲与税とは？

令和6年度から森林環境税（税収は間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用に充てられる）が課税されますが、国に一旦集められた税の全額を、市町村やそれを支援する都道府県に客観的な基準で譲与（配分）します。森林現場における諸課題にできる限り早期に対応する必要があることから平成31年（令和元年）度から適用されますが、令和5年度までの譲与財源は暫定的に譲与税特別会計における借入で対応されます。



■ 9 月補正予算の状況 ■

会 計 名		補 正 額	総 予 算 額
一 般 会 計		1 億 751 万 1 千円	69 億 1,693 万 9 千円
特別会計	介 護 保 険	140 万 9 千円	10 億 4,229 万 8 千円
	ラベンダーハイツ事業	16 万 9 千円	3 億 2,368 万 4 千円
	公 共 下 水 道 事 業	▲ 241 万 4 千円	3 億 6,334 万 4 千円
企業会計	収益的支出	—	9 億 4,847 万 4 千円
	資本的支出	19 万円	2,359 万 3 千円

補正予算

JR富良野線利用促進を支援

一般会計では、歳入で普通交付税、臨時財政対策債の確定に伴う増額、歳出で母子保健連携システム改修、北海道鉄道利用促進環境整備交付金市町村支援に係る経費、幼児教育・保育給付費等無償化事業に係る経費等の増額などを、また、特別会計及び企業会計では、介護給付費の確定、実務者研修等支援事業補助の採択、一般会計からの繰入金の確定に伴う補正などを行い、それぞれ原案のとおり賛成多数により可決しました。

決 算

決算特別委員会を設置

「平成30年度上富良野町各会計歳入歳出決算の認定について」及び「平成30年度上富良野町企業会計決算の認定について」は、なお十分な審議を要するため、議長及び議員選出監査委員を除く12名の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、地方自治法第98条第1項の検査権が委任され、議会閉会中の継続審査とすることに決定しました。

総務大臣より表彰されました

西村昭教前議長が上富良野町議会議長として12年間、地方自治の発展に功労され、総務大臣より10月4日に表彰されました。



● 議会懇談会のご案内 ●

議会の活動を広く知ってもらい、町民の皆さまから意見をいただくため、議会懇談会を次の日程で開催します。

テーマ

「議会・議員に求めるもの」

開催日 11月28日（木）

9時30分～ 草分防災センター

・東中会館

18時30分～ 保健福祉総合センターかみん

※託児あり。要事前申込み

・セントラルプラザ

懇談会は概ね2時間程度です。
子どもを連れて参加できます。

※かみん会場のみ、託児を用意します。託児を希望する方は11月20日（水）までに議会事務局に申込み願います。

— 事前申込み —

上富良野町議会事務局

☎ 6992



昨年度の議会懇談会の様子

参加町民の方々と議員がテーマをもとに懇談を行います。

どの会場でも同一内容で実施します。どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。たくさんのご来場をお待ちしています。

人事

教育委員会教育長、委員2名、監査委員を任命する議案が提出され、それぞれ全員賛成で同意しました。

教育委員会教育長 服部 久和さん(再)
本町5丁目

教育委員会委員 四釜 充啓さん(新)
栄町2丁目

教育委員会委員 三熊 邦彦さん(再)
東7線北16号

監査委員 中田 繁利さん(新)
本町5丁目

選挙

選挙管理委員と補充員

選挙管理委員とその補充員は地方自治法により、議会で選挙すると規定されているため、その規定に基づき指名推薦による選挙を行い、左記の方々が当選されました。

任期…令和元年11月1日～令和5年10月31日

選挙管理委員 補充員(順位順)

奥田 哲也さん 藤森 淳さん

高橋 美和子さん 大道 俊夫さん

中澤 恵久子さん 添田 ありささん

松本 隆二さん 四釜 啓美さん

報告

議員派遣結果報告

令和元年6月25日、札幌市において開催された北海道町村議会議員研修会に議員14名が参加しました。

『どうなる？今後の日本政治』と題して政治評論家の有馬晴海さんから、『地方は変わるかく議会はどうか変わるか、自治体をどう変えるか』と題して中央大学名誉教授の佐々木信夫さんから、2つの講演を聴講し、今後の活動の参考となりました。

また、6月26日に胆振管内安平町において、「道の駅あびらD51(デゴイチ)ステーション」の整備について、視察調査を行いました。

道内124番目の道の駅として、令和元年4月19日にオープンし、SL及び急行列車が展示されていました。

平成24年度に基本計画を策定して以降、基本設計、実施計画の段階で町民や関係団体との意見交換を丁寧に行い、指定管理者候補団体と協定を結んで町とその団体とで運営方法や運営内容、費用負担なども、早い段階から時間をかけて多方面からの協議をして、決定してきたことは大いに参考となりました。



意見書を国・道に提出

特別支援学校の設置基準の策定、及び

特別支援学級の学級編制基準の

改善を求める意見書

全国的に特別支援学校の児童・生徒の増加が進んでおり、在籍数の増加に見合った学校建設が進んでいない。幼稚園から小・中学校、高校、大学、専門学校の前までにある「設置基準」が特別支援学校にないのは問題であり、特別支援学校の「設置基準」を策定することなどを求める。

林業・木材産業の成長産業化に向けた

施策の充実・強化を求める意見書

本道の森林は全国の森林面積の約4分の1を占め、森林資源の循環利用を進める必要がある。今後、人工林資源が本格的な利用時期を迎える中、森林資源の循環利用による林業木材産業の成長産業化の実現に向け充実・強化を求める。

「これからの高校づくりに関する指針」を

見直し、機械的な高校統廃合を

行わないことを求める意見書

北海道教育委員会は平成30年3月に「これからの高校づくりに関する指針」を発表した。この「指針」によって高校統廃合が行われれば、実に95校が統廃合の対象となる。地域の願いや実態に応じ、子どもの学ぶ権利や教育の機会均等を保障する立場から機械的な高校統廃合を行わないことを求める。

新人議員 大いなる一步を踏み出す

Ⅱ 初議会と定例会を終えて：Ⅱ

小田島「町を歩いていて、自分が知らなくても町民は自分の事を知っていると思うと、その責任の重さを改めて実感しますよね？」

全員「本当にそうですね」

小林「選挙後、すぐに自分たちが議長を選ぶ選挙があると知ったものの、まだ先輩議員の方々のことも全然知らない。そんな中で新人議員が意見を述べ、全議員がその意向をくみ取ってくれて、正副議長選への議員一人ひとりの思いを聞く機会が実現したことは、自分たちの存在価値を少しは感じることができませんでしたか？」

佐藤「それは初議会の正副議長選で更に感じました。町民の思いを背負いながら投じる1票の重さに、少々手が震えました」

元井「私も震えました。その後、来賓として行事出席が多く、慌ただしく、あつという間の1カ月でした」

小田島「本当にあつという間でしたね。加えて9月定例会の一般質問締め切り日9月12日まで、久しぶりに一生懸命勉強して（笑）、かろうじて実現にこぎつけました」

小林「今回、一般質問はできなかったけれど、新人議員の中で一般質問に立ってくださった小田島さんには勇気をもらいました」

小田島「ありがとうございます（笑）。ただ、これまで傍聴人として一般質問を傍聴してきて、直球だけではなく変化球が必要だと思っていましたが、思っ

たようにはいかなかったです」

元井「改めて町民の意見を代弁する責任を果たす難しさを肌で感じました。実際に私たちが発言する場として注力すべきは委員会でしょうか？」

佐藤「そうかもしれません。本会議（定例会・臨時会）が最も重要であることは勿論ですが、委員会は本会議から何ら干渉や制約を受けず、独自の立場で審査ができると謳われていますものね」

元井「では、次の委員会では積極的に質問しようと思います」

小田島「いよいよここからが本番ですが、心がけていることなど、ありますか？」

小林「実際、議員になることができて大きな可能性があると感じています。議員という立場で町民の方や役場職員としっかり向き合っていきたいです」

元井「フェイスブックなどのSNSを通じて、議員の活動や議会を身近に感じてもらえるよう努めていきたいです」

佐藤「定例会毎に後援会には議会報告通信を配布予定ですが、様々なコミュニティに出向いて行き、町民の『生』の声を聞かせてもらう機会を増やしたいと思います」

小田島「町長、町職員、町民、議会が一体となつて上富良野がより良い方向に進めるよう、お互い頑張りましょう」

全員「頑張りましょう！」



議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、また、必要に応じて臨時会を開催しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる機会です。議会では住民生活に関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政（町長や教育長など行政委員会の長）へ質問をする「一般質問」も行なわれます。

次の定例会開会予定は：

12月11日（水）・12日（木）です

※この日程は変更になる場合がありますので、事務局にご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

お気軽にお越しください。
たくさんの方の傍聴をお待ちしています！

— お問い合わせ —

上富良野町議会事務局 ☎ 6992

一般質問

5名の議員が町政を問う

一般質問とは、年4回の定例会において議員が住民の声や自身の考えなどにより、町政全般にわたって執行者の考えをたずねるものです。

議会だよりでは紙面の都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。

詳細は後日、行政ホームページに会議録を掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができます。ぜひ、議場へお越しください。

ページ	質問議員	質問事項
11	高松 克年 議員	① 今年度の除雪の対応について ② 難聴者、聴こえにくい人への支援対策について
12	荒生 博一 議員	① 人口減少を見据えた行政運営の効率化と町民サービス向上について ② 地域の足の確保策について
13	中瀬 実 議員	① 農業部門ワンストップの検証について ② 携帯電話の圏外地域解消と光ブロードバンドサービスの普及対策について
14	米沢 義英 議員	① 中学生の医療費無料化について ② 保育の無償化に伴う副食費の徴収について ③ 町立病院の建設について ④ 翁道路の整備について
15	小田島 久尚 議員	① 日の出公園の新たな魅力づくりについて ② 複合拠点施設について



土木

—高松 克年 議員—

除排雪は住民には重要課題

住民とは協議の上で対応（町長）



除雪前のグレーダー整備

高松議員 春先まで交差点に雪が残った昨年度の除排雪の状況をふまえ、今年度、どの様に効率的な作業に努めるのか。

向山町長 昨年度は予算費を充当し、補正予算を計上して、通学路を重点に対応した。今年度も委託業者と調整し、計画的に対応する。

高松議員 除雪機械の能力が向上しており、住民からの意向を聞いた様子もないまま、町道の先に居住者の居る所で、町道

までも地先の人が除雪している場合があるか。

向山町長 住民の都合に合わない場合に協議の上、除雪を住民が行う町道はある。今後とも協議を重ねていく。

高松議員 町道除雪基準はあるが、数戸が居住の共有私道について、高齢者世帯、独居、障害のある人は、状況により除雪支援が必要と思うが。

向山町長 私道に対する行政サービスとしての除雪対応は考えていない。

福祉

難聴者、中途難聴者への支援を

福祉行政全般で対応（町長）

高松議員 道は、障がいのある方への配慮の指針を出している。町はどのように取り組むのか。

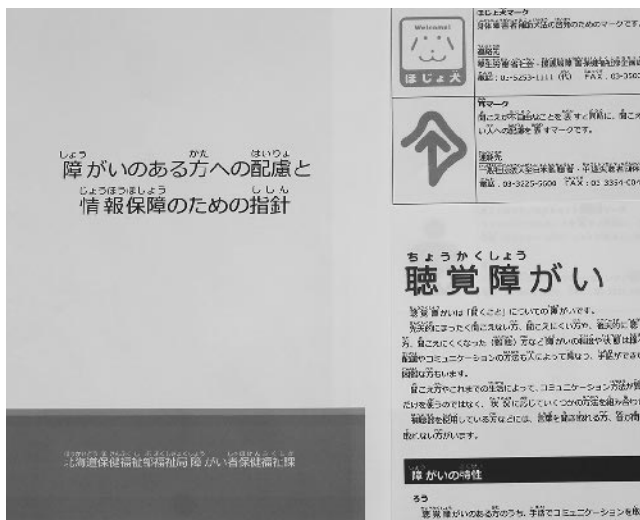
向山町長 来年度、次期障害者計画で検討を行い、指針を生かして策定していく。

高松議員 道の指針からどのように聴覚障がい者支援を具体化するのか。

向山町長 道の指針等が示され、それを参酌して障害者計画に反映させていくよう考える。

高松議員 町の住民健診時、保健師により「聴こえにくい」方を確認できないか。

向山町長 住民健診に聴力検査はない。民生児童委員による毎年の高齢者実態調査で不自由なことも聞き取り、福祉サービ



障がいがある方への配慮を

スにつなげている。

高松議員 住民健診の中で聴力検査は、付属健診として不可能なのか。

保健福祉課長 町は聴力検査の義務はない。国・道の方針に基づき実施しており、町独自の検査は考えていない。

高松議員 現在84名が聴覚障害手帳の交付を受けているが、公的支援を受けられない難聴者に健康上の配慮を含め、補聴器助成措置はできないか。

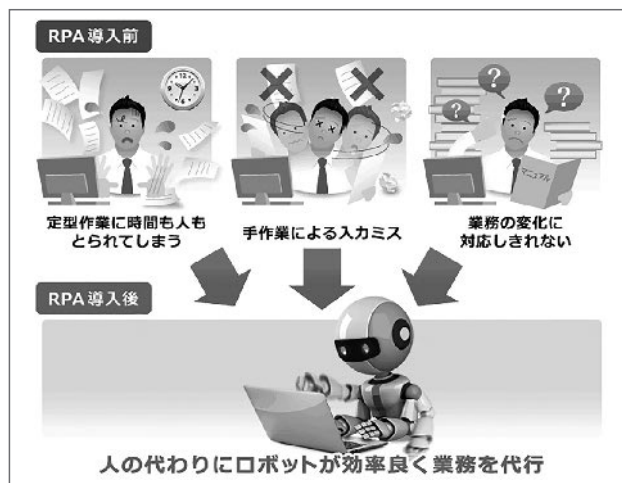
向山町長 個別に補聴器への助成は大変難しい。



— 荒生 博一 議員 —

行政

最新テクノロジー導入の検討は 大変重要なことと感じている（町長）



「出典：三菱電機インフォメーションシステムズ（株） オフィシャルページ
(<https://www.mdis.co.jp/service/rpa/index.html>) 転載禁止」

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の利用イメージ

荒生議員 業務プロセスの改革による行政運営の効率化を今後、更に進めるためには、定型事務作業のRPAやAIの実証試験、導入などによる業務効率化の推進が必要と考えるが。

向山町長 現状の人口構成においても、今後、更に生産年齢人口が減少していくという現実を考えれば、更なる行政機関のスリム化が求められる状況も想定される。限られた人材により多様化する

※「RPA」とは、主に事務の定型作業をパソコンのなかにあるソフトウェア型ロボットが処理・分析等を代行・自動化する技術

住民サービスの提供体制の維持・向上を図っていくためには、新たな情報通信技術や高度な科学技術を応用した機能・サービスの導入・活用を進めていくことも大変重要なことと感じている。行政事務の効率化と住民サービスの向上を図る観点から、新たな情報通信技術や先端技術について関心を持って研究・検討してまいりたい。

交通

町内循環バスなどへのシフトは

現時点では、検討は難しい（町長）

荒生議員

予約型乗合タクシーの今後の利用者の増加と、幅広い町民の方々の利用に対応すべく、町内循環有償コミュニティバス（中型車・大型車）などへの運行形態のシフトの検討をお考えか。

向山町長

現在、スクールバスを含めた町が行っている地域公共交通の確保策については、平成16年9月まで、長くスクールバス・乗り合いバスをそれぞれ運行してきた。当時、自家用車の普及等による利用人員の減少などから、平成16年10月からスクールバス混乗方式及びスクールバスの空き時間を利用した町内循環バスの運行体制に変更したところであるが、町内

バスについては、利用者が極めて少なく、町民の皆様のお聞きした上、平成18年3月をもって廃止し、同様にスクールバス混乗方式についても、予約型乗合タクシー事業が定着してきたこと

から、町営バス十勝岳線を除き廃止し、現在に至っている。過去の実績から、その効果を見いだすことが難しい状況と考えることから、現時点では、循環バスの検討は難しい。



公共交通の確保策の再検討を



農
業

—中瀬 実 議員—

農業部門ワンストップの検証は 情報伝達、情報共有は格段に改善（町長）



J A ふうの上富良野支所へ移った農業部門

中瀬議員

J A ふうのとの協議は定期的に行われているのか。

向山町長

日常的に相互で必要に応じ、農業行政及び農業関係の諸課題等について、その対策、対応及び解決に向け協議、検討を行い、定期的には行っていない。

中瀬議員

今後、上富良野支所が北エリアへ移行になったとき、協議に支障はないのか。

向山町長

基本的に支所

制度と大きく変わらないことから、今後の業務協議に支障はないと受け止めている。

中瀬議員

経費の面での変更はないか。

向山町長

J A ふうのとの町との間で3年間の事務所等の使用料契約を締結していることから、現段階では当初からの変更はないが、消費税率の改定、物価の上昇等もあることから、今後、J A と協議を行う。

通 信

携帯電話の圏外解消、

光サービスの普及は

携帯会社との協議は

行っていない（町長）

中瀬議員

携帯電話の圏外解消のため、業者とは協議されているのか。

向山町長

町内郡部地域において、いずれか1社のエリア内にあると判断しており、携帯電話の不感地域はないと認識しており、業者との協議は行っていない。

中瀬議員

地域からの要望に対しての町の対応は。

向山町長

地域から要望があった際には状況を確認した上で、地域の実情を踏まえて要望を携帯電話各社に行っている。

中瀬議員

光ブロードバンドサービスについては郡部地域はサービス提供はないとの話だったが、今年7月、提供拡大となった。町はいつ提供拡



圏外解消のために望まれるアンテナ

大の情報を把握されていたのか。また、未提供地域解消の情報は。

向山町長

去る6月17日にNTT東日本北海道のホームページにおいてアナウンスされたところであり、町としては、その

公表数日前に担当部署に情報提供を受けたところである。今回は一部のNTT回線の設備更新に伴うサービス提供であり、未提供地域解消ではない。今後、拡大の計画はされていない。



—米沢 義英 議員—

副食費の無償化を

副食費の助成の考えはない（町長）

子育て



昼食を味わっている園児たち

米沢議員 幼保教育の無償化が実施されようとしているが、子どもの発達、発育に欠かせない副食費を無償化の対象から除外するのはおかしいのでは。町独自の助成策を実施すべきでは。

向山町長 子どもの成長において「食」は、とても重要な要素であり、昼食についても家庭や施設等、どの場面においても同様と認識している。また給食費の負担についても、受益者負担が基本で

あることから、実費相当の受益者負担をしている。ただくものであり、現制度においても給食費については、公定価格の単価で算定されており、利用者負担となっており、幼児教育・保育の利用料無償化においても、町民税所得割課税額7万7千100円以下の世帯の副食費は無償となり、保護者の皆さまに周知しており、町独自の副食費に対する助成は考えていない。

土 木

翁道路の早期の改修を

適正な維持管理に努めたい（町長）

米沢議員

翁道路は一般

車両や自衛隊や観光バス、農作業用の車両が往來する道路で、翁橋から東4線の間が未だに未整備の状況である。

早急に道路の改修を望む声があるが、今後の対応は。

向山町長

本路線は、翁

橋を起点とし、演習場までの2千115mを整備する計画で、平成4年度より路面状態が劣化している東4線道路から演習場までの区間の整備を先行して改良舗装工事を実施した。

残る翁橋から東4線道路の区間については一部、補償物件の交渉が難航し、平成16年度までとした事業実施期間内での解決が見通せず、北海道



一部未整備の翁道路

防衛局とともに、地域住民に状況説明を行い、平成14年度の事業を最後にやむなく休止とし、現在に至っている。

多く、簡易舗装であることから毎年ひび割れが発生し、補修を行っている実態であり、新たな整備なども見込まれないことから、引き続き適正な維持管理に努めたい。



公園

—小田島 久尚 議員—

日の出公園に駐車場を整備する考えは さらに熟慮してまいりたい（町長）



日の出公園と畑（元駐車場）を結ぶ立派な階段

小田島議員

日の出公園
については、観光スポッ
トとして重要な役割を
担っている。受入環境を
整備することは、公園の
魅力化にもつながると考
えるが、駐車場を整備す
る考えがあるのか。

向山町長

今後も環境整
備を通じた魅力づくりが
大変重要であることか
ら、常設駐車場の整備の
必要性は欠くことのでき
ないものであると認識し
ている。また、この間、
議会へもお諮りした経緯

等を踏まえ、更に熟慮し
てまいりたい。

小田島議員

公園の魅力
づくりについて、担当部
署に資料の作成を指示さ
れてはいるかが。多くの
課題を事前に把握するこ
とは重要と考えるが。

向山町長

魅力づくりに
主眼を置いたきめ細やか
な計画案は既に作成が済
んでいる。前提条件が
整っていないので公表は
していないが内部的に
は、もう既にでき上って
いる。

施設

複合拠点施設の立地条件は

住民や関係団体の意見等を反映させ
ながら作業にあたっている（町長）

小田島議員

第6次上富
良野町総合計画におい
て、「複合的な機能を備
えた拠点の整備」を計画
されているが、具体的
な立地条件等があるのか。

向山町長

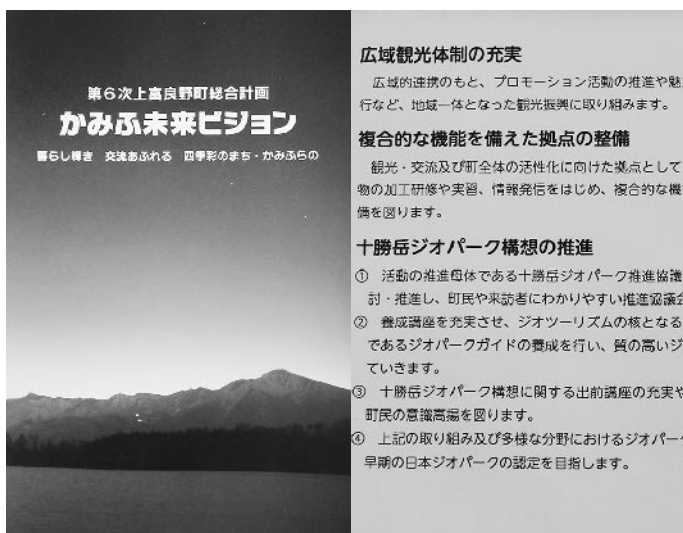
現在、町にお
いては、複合拠点施設の
整備に向け、基本計画の
策定作業を進めており
「町民検討会議」の設置
など、住民や関係団体の
ご意見等の反映に努めな
がら、その作業にあたっ
ている。

施設の立地条件等につ
いては、基本計画の策定
作業において、事業効果
の最大化のため、利用者
の想定や持たせる機能、
施設運営の手法等を検討
する中で、必然的に立地
場所も具体的検討項目と
なることから、その課程

において、必要な条件等
が集約されていくものと
考えている。

いずれにしても、本事業が「まちの活力再生」と「町民交流の新たな拠点」となることが最大の目的であり、多くの町民

の方から早期の実現が望まれており、更に具体化に向け取り組んでまいりたいと思いますので、理解を賜りたい。



第6次上富良野町総合計画



7月29日	全員協議会 第4回臨時会
8月26日	議会広報特別委員会 新任議員研修会
8月28日	議員協議会 第5回臨時会（初議会）
8月30日	総務産建常任委員会 厚生文教常任委員会 議会運営委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会
9月4日	議会運営委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会
9月13日	議会運営委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会
9月17日	議会運営委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会
9月18日	議会運営委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会
9月19日	議会運営委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会
10月8日	議会広報特別委員会 第3回定例会（1日目） 第3回定例会（2日目） 議会広報特別委員会 第6回臨時会
10月25日	議会広報特別委員会 第3回定例会（1日目） 第3回定例会（2日目） 議会広報特別委員会 第6回臨時会
10月26日	議会広報特別委員会 第3回定例会（1日目） 第3回定例会（2日目） 議会広報特別委員会 第6回臨時会
10月28日	議会広報特別委員会 第3回定例会（1日目） 第3回定例会（2日目） 議会広報特別委員会 第6回臨時会
10月29日	議会広報特別委員会 第3回定例会（1日目） 第3回定例会（2日目） 議会広報特別委員会 第6回臨時会
10月30日	議会広報特別委員会 第3回定例会（1日目） 第3回定例会（2日目） 議会広報特別委員会 第6回臨時会
10月31日	議会広報特別委員会 第3回定例会（1日目） 第3回定例会（2日目） 議会広報特別委員会 第6回臨時会
11月5日	議会広報特別委員会 第3回定例会（1日目） 第3回定例会（2日目） 議会広報特別委員会 第6回臨時会

大空町議会が視察来町

10月2日にオホーツク管内大空町議会総務厚生常任委員6名と職員3名が、どぶろく特区の取り組みによる地域活性化、住民の健康づくりと特定健診の受診率向上に向けた取り組みについて、視察来町されました。

町内行政調査を実施

10月8日に全議員が出席し、町内5カ所を行政調査しました。

富良野沿線市町村議会議員研修会に参加

10月11日に占冠村で議員研修会が開催され、議員13名が参加しました。

㈱ローカルファースト研究所代表取締役・一般社団法人震災復興ワークス理事長・東洋大学客員教授関幸子氏による「人口減少時代の議会の役割・気候の厳しさの中での地域経営」の講演を聴講しました。

三重県津市議会が視察来町

10月16日・17日に三重県津市議会会派3名が、友好都市交流について、視察来町されました。

鶴居村議会が視察来町

10月23日に釧路管内鶴居村議会議員9名と職員2名が、まるごとかみふらのプレミアムビールの取り組み、北海道遺産「土の館」を活用した観光の取り組みについて、視察来町されました。

上川管内町村議会議員研修会に参加

10月29日に美瑛町で議員研修会が開催され、議員13名が参加しました。
社会福祉法人江差福祉会理事長 樋口英俊氏による「障がい者の就労と高い作業工賃確保を目指して」、北海道大学客員教授 久田徳二氏による「グローバリゼーションの新時代」の2講演を聴講しました。

ひとりごと...

■十勝岳連峰（アイヌ語では「オプタテシケ」と呼んでいた）が白く変わり、紅葉が美しく野山を飾り、雪の季節を待つことになります。

■今年、我が町は大きな災害に遭わず、過ぎようとしています。全国的には、台風15号、19号と関東、都県を始めとして、過去に経験のない被害を残しています。住民の方々の復興にかかる時間を考えると胸が痛みます。地球的な天候状況を考えると、私達にとっても明日は我が身、他人事では済まされません。

■いざという時、命を守ることが第一。それには正確な情報収集が大切になると思うこの頃です。

（高松 記）

議会広報特別委員会

委員長	高松 克年
副委員長	小田島 久尚
委員	元井 晴奈
	米沢 義英
	佐藤 大輔
	小林 啓太